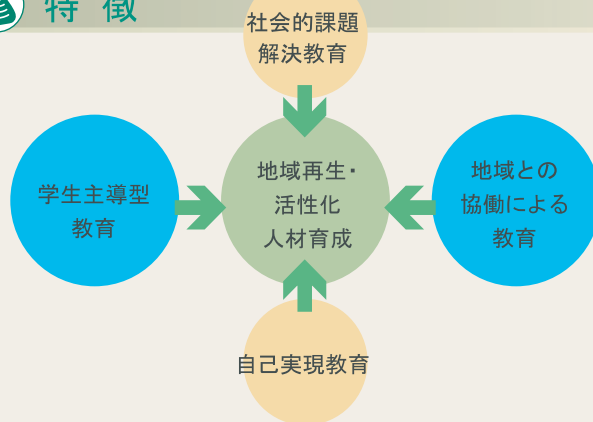


『地域を創る、地域が育てる』学生教育

プロジェクトの特徴と教育課題への対応



特徴



最近の日本農業や地域農業・経済が抱えている課題に鑑み、教育目標である「食・農・環境」に関する課題の解決に向けた現状分析と問題解決手法の習得、「地域社会の担い手」育成等を実現するため、本プロジェクトは、「社会的課題解決教育」「地域との協働による教育」「学生主導型の教育」「自己実現の教育」という4つの教育目標を設定しています。こうした教育を通して、実習地域においては、大きく以下の問題解決を目指します。

地域活性化

耕作放棄地・遊休荒廃地を活用し、特産品である和紙の原料（楮・トロロ葵）を生産し、さらに和紙作りを行うことで、伝統文化の維持を目指します。

食料自給率向上

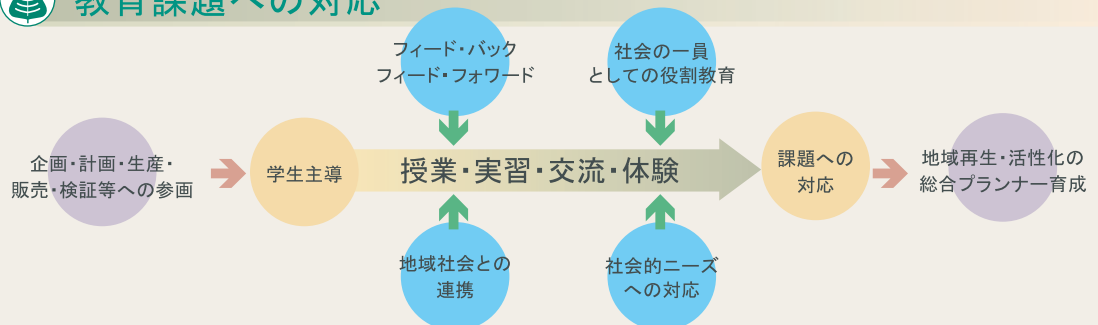
耕作放棄地・遊休荒廃地を利用して、自給率の低い作物（大豆・ソバ等）を生産し、地域特産物の原材料として活用し、「地産地消」に取り組むことで、自給率向上を目指します。

自然環境保全

植林等を通じた森林資源の維持管理により、地域の自然環境の保全を目指します。



教育課題への対応



地域再生・活性化人材育成教育

- 地域社会との連携教育による社会人としての訓練と人間関係形成の教育
- 社会的ニーズに対応できる能力育成、社会貢献意識の涵養
- 就職後の対応力涵養

ひろく社会で活躍できる能力と知識を持った人材の育成